

(實現行方法)

- 一、華氏九十度以上の坑内作業を男子坑夫と雖も禁止すること。
- 二、之れに對して日本勞農党と共同して「東議會」請願運動を起し且凡ゆる之方法を以て社會に訴へること。
- 三、今後争議に際しては右の貫徹に努力すること。
- 四、以上を對して尚完全なる調査を必要とする爲め日本勞働組合同盟に於て礦山勞働者災害調査委員會を設置すること。

大會宣言

日本勞働組合同盟第一回大會は、その立場と運動方針とを次の如く宣明する。

世界大戦と之に次ぐ世界の恐慌とは、一時資本家階級の陣營を極度に混乱せしめ、崩壊に致せしめたが、此の間に彼等の決死的努力は金融寡頭政治を確立し、その政治的権力による無産階級の隷屬化を強制し、産業の合理化に成功するに至り、彼等の陣營は漸く一時的安定を備へ示すに至つた。

然し乍ら彼等は此の安定を以て、一時的の現象と思惟し、之を嵐の前の静けりに致すものとして斯の如きは畢竟更に拡大し得たる自己矛盾の再生産に外ならない。亦定る美の本質的矛盾たる征伐国家と被征伐国家との対立、征伐国家相互の対立、ブルジョアプロレタリアとの深刻化される対立は、現実に於いて、打倒帝國主義の反革命運動の上で、最近固く燃え上り、軍縮會議の上で、かの英國炭坑夫の争議の上でその歴史的徴候を示してある。

斯の如きは、今日の請安定が如何に不安と矛盾とに満ちたものであるかを知らず物語るものでなく、何があるか。

世界資本主義の「環」たる我國の資本主義は、世界大戦に於ける特殊の事情を以て後

資本主義國として、その資本主義の進行の途程を、